

立待公民館

1 立待農協の活用についての要望

- ・立待農協の後の有効利用をしたい。学校も近いので、学童、防災の避難所、人形劇や子ども文楽、収益を得る活動（三代会のような）等に、まちづくり委員会からも声が上がっている。
- ・石田児童館は遠いし、私立の吉江保育園で学童を受け入れてもらっているが、満杯。
- ・市長と語る会で「難しい」の一言だった。今でも住民の多くは農協のところを地域で使わせてもらえたら、と願っている。
- ・立待小学校前の旧 JA 跡地について市に有効活用を提案したが、「公共施設の床面積削減をすすめているため、新たな施設整備は困難」との説明だった。（門前払いの感あり非常に不愉快だった）削減はもっともだが、地域に本当に必要な施設は整備すべきだ、児童センターの数が足りない。
- ・駐車場が後ろのあるわけで、農協の倉庫、壊して駐車場を更に広くしたらいいのでは。

2 AI ロボットの不登校対策、反対

- ・不登校対策に、AI ロボット・ラボットの導入ですが、50 万円のロボットを 15 校、全部に配置して、不登校対策、誰一人とり残さない「ひとづくり」施策は、間違っている。人間を育てるのにロボットは反対。

3 「3 代まつり」3 つも、必要か。

- ・目的、何のためかはっきりわからない。
- ・対象、地元住民のためか、県外客への PR か、県外の客のためなら移動も不便だし、地元民のためなら混雑しすぎて、大きな予算で動いているが、考えた方がいい。
- ・地元の店をやっている友達は、それでも、一過性に過ぎないが収益が欲しい、との声もある。

4 SDGs ナンセンス

- ・そもそも SDGs という政策を掲げ、有名になることだったのか、目的は。センターを作り、おおきなお金で動いているが、ナンセンス、反対。

5 全体的に障がい者の参画

- ・障がい者自身が、まちづくりに参加している、そんな鯖江市になってほしい。
- ・今日も、エレベーターがなかったから、車いすを皆さんで抱え上げて、2階の会場、この「おしゃべり会」に参加してもらえた。
- ・耳の聞こえない人が動き、私たちの声から、手話条例を一緒に作って、鯖江市で施行してもらえた。
- ・特別支援学校が鯖江市にはないから、車いすの子のための学校であったり、耳の聞こえない人、目が見えない人などの当事者の声が、地域や学校にいかされていない。学校と地域、家庭のギャップが大きい。公共の建物やまちの中、インクルーシブ、ダイバーシティの世の中、障がいをもつ議員も誕生できたら願う。

6 サンドームの近くに駅を作ったら

- ・無人駅でいいから、サンドームで催し物があるときだけの駅でいいから、あると、現在のまちなかの混雑が解消される。イベント会場、サンドームのイベントがもたらす、まちの混雑、ごみ、環境問題、おせっかいで活動が評価されている話でない。根本的なまちづくりの話ではないか。

7 入園、入学の際の障がい児者の相談体制

- ・障がいのある子の親（ママ）が入学の時、直接対応してもらえなくて、あっちこっち振り回されるだけで、結局どうしたらいいのか分からなく、つらかったと聞く。障がい児の入学に関して、相談をもっと身近に、親身になって受け入れてほしい。丁寧な相談体制が欲しい。

8 JK 課について

- ・高校生が制服で JK 課活動をするのなら、髪の毛は金髪などでなく、黒でいい。私服なら別だけれど、高校の教師として、鯖江高校の評判、評価を下げることになり、困る。

9 産業建設委員会の事なんですが、企業見学について

- ・参加者が少なかった。高校の探求学習の時間を使ったらどうだろう。案内の仕方も工夫した方がいい。
- ・小学生対象も取り入れたら、親の姿を見て、鯖江に残る選択になるのでは。企業、職場見学を2本立てはどうか。

10 つつじバスについて

- ・車いすでつつじバスを利用したときに 前向きで乗車する事になる 必然的にほかの利用客と対面になる（非常に気まずい）。
- ・車内で車いすを回転するスペースの確保、補助を検討してほしい（ハンディを抱えるひとに優しい環境をのぞむ）。